がん化学療法指示書

登録番号　348

作成日　2022/9/14

レジメン名	アベルマブ療法
診療科・対象疾患	（泌）根治切除不能な尿路上皮癌における化学療法後の維持療法
投与間隔	2週毎
投与サイクル数	PDになるまで

Chemo Navi

薬剤名	成分名	投与量	投与日
バベンチオ	アベルマブ	10mg/kg	day1

治療内容

注射

滴下順	抗癌剤	薬剤（成分名）	投与量	時間	投与方法	投与スケジュール day1	…	…	…	…	…	…	…	day14
Rp1		生理食塩液	100mL	30分	ルート確保用	●								
					ｲﾝﾌｭｰｼﾞｮﾝﾘｱｸｼｮﾝ予防のため、ﾚｽﾀﾐﾝｺｰﾜ、ｱｾﾄｱﾐﾉﾌｪﾝ内服し、30分かけて投与する。									
Rp2	癌	バベンチオ	10 mg/kg	60分	点滴静注メイン	●								
		生理食塩液	250mL											
Rp3		生理食塩液	50mL	15分	フラッシュ用	●								

内服

その他必要薬剤	点滴開始時 レスタミンコーワ10mg　5錠　服用 アセトアミノフェン300mg　2錠　服用
総投与時間	1時間45分
血管外漏出リスク	バベンチオ：非壊死性抗がん剤
投与時の注意事項	・バベンチオは0.2μmフィルター付きルートで投与する。
備考欄	・Infusion Reaciton Grade2の場合、バベンチオを中断する。注入に伴う反応が消失または少なくともGrade1に回復した時点で、50%の投与速度で投与を再開し、悪化が認められないか慎重に観察する。 ・Infusion Reaction経験例では、前投薬にH2拮抗薬を加える、あるいは解熱鎮痛剤の変更を検討する。